

文部科学省選定  
(中学校・少年・青年向)

# 見上げた 青い空



企画

法務省人権擁護局

財団法人人権教育啓発推進センター

副音声/字幕入り (34分)

# はじめに

いやがらせメール、プロフ(プロフィール)、掲示板。匿名性が高いネット時代の“いじめ”は、ウィルスのように次々と感染していき、陰湿な仕打ちもまるでゲーム感覚です。そして、誰が次のターゲットになるか分からない疑心暗鬼から、クラス全員がいじめられる側に加わろうとする一方、ターゲットとされた子どもは24時間365日いじめにさらされてしまう残酷さもネット時代の“い

じめ”の特徴です。“いじめ”によって子どもが自殺するのは、決してその子どもが弱いからではなく、現代のいじめがそれほど残酷だからです。

また、“いじめ”は、いじめられる側だけではなく、いじめる側も苦しめるといっても残酷であり、いじめ問題を解決するためには、いじめる側にいじめを止めさせることをとにかく最優先しなければならないと指摘する専門家もい

ます。

このビデオは、巧妙かつ残酷ないじめの現実、そして、いじめられる側もいじめる側も苦しんでいる“いじめ”の本質を直視していただき、あらためて“いじめ”について考えていただくきっかけになることを企図して作成されました。

ご覧になった方の一人一人に、人ごとではなく自らの問題としての「気付き」があることを願っております。

## 「落ちて行く、落ちて行く、青い空へ、岸田くん・・・」

いじめを苦しめた良太は幼なじみの岸田へ最後のメッセージを残して緑山公園の展望台から飛び降り自殺をしてしまいました。良太を助けられなかった岸田は、良太をいじめた中心人物に仕立てられた上に、新たないじめの対象にされてしまい、結局、転校することになってしまいました。そして新しい中学、ここにもいじめはありました。それはインターネットや携帯電話を使った陰湿なものです。一瞬にして、いじめる側といじめられる側が入れ替わったりします。橋本幸江も本上藍香たちにいじめられていた井上加奈子をかばったばかりにいじめられるようになっていました。幸江へのいじめはどんどんエスカレートし、クラス全員がいじめに加わっている状況です。うんざりした岸田は、ある日、担任の浅間先生がいる美術室を訪れます。何かを話そうとしているようです。



そこで、岸田は浅間先生が手にしていた空が描かれた絵を見て驚きます。それが緑山公園から見える空だと気づいたからです。緑山公園の話題となり、浅間先生が「自殺で有名な公園・・・」と話し出した途端、岸田は話そうとしていたことも忘れ部屋を飛び出してしまいます。

ある日の昼休み、何気なく校庭を眺めていた岸田の目に、校門に立ち尽くす幸江の姿が映ります。その頃の幸江は既に保健室登校になっていました。学校に入れず立ち尽くしている姿は、同じように校門に立ち尽くしていた良太の姿と重な

ります。いじめられて怖くて、学校に入ってこれない幸江、そしてあの日の良太。岸田は思います、もう二度と繰り返したくない。岸田は幸江に駆け寄り、そして前の中学での出来事を打ち明けるのです。昼休みが終わり、岸田とわかれた幸江はそのまま保健室へ向かいます。保健室には、まもなく死ななければならない病気を患っている志保が休んでいました。幸江は志保にいじめられていることを打ち明けます。志保に話を聞いてもらった幸江は少し気が楽になりましたが、志保が間もなく死ななければならない自分の運命を受け入れる事ができずに苦しみながら、もっと生きていたいと願っていることを知り、生きられるのに死にたいという今の自分と、志保の生きられないのに生きたいという相反する感情が交差して混乱します。

そして事件が起ります。学校のエントランスホールに張り出されていた幸江の絵にひどい落書きがされ、学校の裏に捨てられていたのです。一体誰が・・・。そしてクラスのいじめ問題の行方は。

この作品には、ドラマに登場した役者がいじめ問題について、それぞれの立場で語るパートがあります。そこにはいじめ問題を解決するためのヒントが盛り込まれています。この作品を見て、みなさんもクラスでいじめ問題について話し合ってください。



エンディング曲

「空に浮かぶ雲」  
(作詞・作曲/歌 KAO)

青空 浮かぶ雲  
君の心を乗せて

優しい風 誘われて  
新しい風が吹く

消えないで 消えないで  
ずっと消えないで  
そばにいて

■監 修 成田 久江 (人権擁護委員)  
■アドバイザー 尾木 直樹 (教育評論家・法政大学教授)  
■制作 株式会社電通テック  
株式会社情報設計

【出演】 橋本 幸江 小野寺華那 浅間先生 花ヶ前浩一  
岸田 裕也 尾原 祐樹 平川先生 花村美穂子  
志保 瀬戸口美桜 良太 吉原 拓弥  
本上 藍香 波多野桃子 良太の父親 毛呂 恭久  
真希 白井 千晶 良太の母親 清宮 雅子  
井上加奈子 桃園 里美 幸江の母親 山形 志乃

この作品に関するお問い合わせ  
(財)人権教育啓発推進センター  
〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12  
TEL 03-5777-1802(代)  
URL <http://www.jinken.or.jp>